

50034	社会教育演習 Social Education Seminar	3年次～ 通年 4単位					
担当者	藤原 昌樹	履修可能学科	E Pe Pc C				
		関連資格	社教選必 (E・Pe・Pc・C)				
サブタイトル							
授業内容 ・ ねらい	本演習は、生涯学習・社会教育の専門的な支援職員である学校教員・社会教育主事・学芸員・図書館司書等として活躍するために必要な考え方や知識、能力を、実践的に培うことを目的としている。前期は、生涯学習・社会教育に参加するために必要な「自由時間（余暇）」について学習する。また後期は、社会教育をめぐる諸問題を実践的に理解するために、子ども、高齢者、障がい者を対象とした実践記録を読みあい、社会教育の実践的なイメージが持てるようにする。						
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 本演習のガイダンスと前期の計画（シラバス使用） 2. 余暇の概念 3. 労働と余暇 4. 日本人の余暇の歴史（近代以前の余暇） 5. 日本人の余暇の歴史（明治・大正期の余暇） 6. 日本人の余暇の歴史（昭和以降の余暇） 7. 「活動」と「空間」からみた余暇 8. 余暇にかかわる「意識」 9. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの定義） 10. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの歴史） </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 後期の計画（シラバス使用） 2. 子どもをとりまく諸問題（1） 3. 子どもをとりまく諸問題（2） 4. 子どもをとりまく諸問題（3） 5. 高齢者をとりまく諸問題（1） 6. 高齢者をとりまく諸問題（2） 7. 高齢者をとりまく諸問題（3） 8. 高齢者をとりまく諸問題（3） 9. 障がい者をとりまく諸問題（1） 10. 障がい者をとりまく諸問題（2） </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 11. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの生活化） 12. 高齢者と余暇・レクリエーション 13. 障がい者と余暇・レクリエーション 14. レジャー・カウンセリング 15. 前期演習のまとめ </td> <td style="vertical-align: top;"> 11. 障がい者をとりまく諸問題（3） 12. 自らの問題意識に基づいた報告（1） 13. 自らの問題意識に基づいた報告（2） 14. 自らの問題意識に基づいた報告（3） 15. 前期演習のまとめ </td> </tr> </table>			1. 本演習のガイダンスと前期の計画（シラバス使用） 2. 余暇の概念 3. 労働と余暇 4. 日本人の余暇の歴史（近代以前の余暇） 5. 日本人の余暇の歴史（明治・大正期の余暇） 6. 日本人の余暇の歴史（昭和以降の余暇） 7. 「活動」と「空間」からみた余暇 8. 余暇にかかわる「意識」 9. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの定義） 10. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの歴史）	1. 後期の計画（シラバス使用） 2. 子どもをとりまく諸問題（1） 3. 子どもをとりまく諸問題（2） 4. 子どもをとりまく諸問題（3） 5. 高齢者をとりまく諸問題（1） 6. 高齢者をとりまく諸問題（2） 7. 高齢者をとりまく諸問題（3） 8. 高齢者をとりまく諸問題（3） 9. 障がい者をとりまく諸問題（1） 10. 障がい者をとりまく諸問題（2）	11. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの生活化） 12. 高齢者と余暇・レクリエーション 13. 障がい者と余暇・レクリエーション 14. レジャー・カウンセリング 15. 前期演習のまとめ	11. 障がい者をとりまく諸問題（3） 12. 自らの問題意識に基づいた報告（1） 13. 自らの問題意識に基づいた報告（2） 14. 自らの問題意識に基づいた報告（3） 15. 前期演習のまとめ
1. 本演習のガイダンスと前期の計画（シラバス使用） 2. 余暇の概念 3. 労働と余暇 4. 日本人の余暇の歴史（近代以前の余暇） 5. 日本人の余暇の歴史（明治・大正期の余暇） 6. 日本人の余暇の歴史（昭和以降の余暇） 7. 「活動」と「空間」からみた余暇 8. 余暇にかかわる「意識」 9. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの定義） 10. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの歴史）	1. 後期の計画（シラバス使用） 2. 子どもをとりまく諸問題（1） 3. 子どもをとりまく諸問題（2） 4. 子どもをとりまく諸問題（3） 5. 高齢者をとりまく諸問題（1） 6. 高齢者をとりまく諸問題（2） 7. 高齢者をとりまく諸問題（3） 8. 高齢者をとりまく諸問題（3） 9. 障がい者をとりまく諸問題（1） 10. 障がい者をとりまく諸問題（2）						
11. 余暇とレクリエーション（レクリエーションの生活化） 12. 高齢者と余暇・レクリエーション 13. 障がい者と余暇・レクリエーション 14. レジャー・カウンセリング 15. 前期演習のまとめ	11. 障がい者をとりまく諸問題（3） 12. 自らの問題意識に基づいた報告（1） 13. 自らの問題意識に基づいた報告（2） 14. 自らの問題意識に基づいた報告（3） 15. 前期演習のまとめ						
教科書 参考書	レジュメを配付。その他、必要に応じて、印刷資料、映像資料を使用する。 参) ヨゼフ・ピーパー著、稲垣良典訳『余暇と祝祭』（講談社学術文庫、1988年）						
評価方法	事前の課題学習、授業への取り組み、授業時の課題報告（60%）および学期末最終課題レポート（40%）を総合的に評価する。						
事前準備学習 履修条件等	各時間ごとの課題やグループワーク等が課せられるので、継続的な出席が求められる。						